

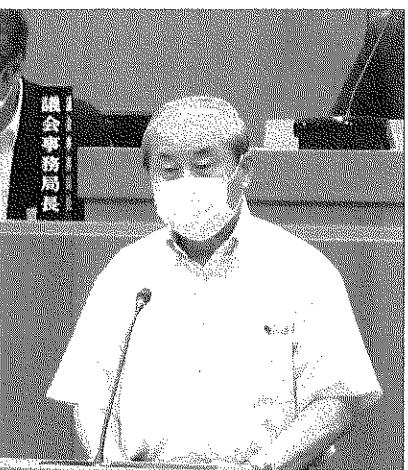
# 売上高30%対象にならない業者の支援を求める

以上  
の減でも

大谷市議は6月市議会一般質問で、市が今実施している事業者の支援策を聞くとともに、対象にならない業者の支援についても質問しました。

党市議団は「くらしと平和を守る日田地区連絡会」(市内6団体参加)と共に、市に中小・小規模事業者の支援策を要望していました。市は6月議会で

①中小企業者等事業継続支援事業1億6千109万円(イ、賃料支援事業補助金。ロ、自己所有物件事業支援金)②中小企業



利子補給事業2198万円を議決しました。

商工観光部長は「新型コロナウイルス感染症の第4波の急拡大、大分県の外出自粛、時短営業要請、福岡県の緊急事態宣言でさらに厳しい経営を強いられている事業者を支援する目的で実施する」と説明。

大谷市議は「市の支援策では対象にならない方もいる。例えば、市の基準の30%以上の減収で、借家で手間請け大工など

玖珠町の事業(給付要件と金額)  
令和2年1月から12月が令和1年から12月の1年間の売上比べ、30%以上減少した方その減少額で給付額が決まる。減少額50万円以上は一律10万円、減少額100万円以上は一律30万円、減少額500万円以上は一律50万円、減少額1000万円以上は一律70万円。

# コロナ感染拡大の懸念、夏イベント予算を削減

29日、6月市議会本会議で「天ヶ瀬温泉街復活プロゼクト事業1522万円の予算について、全額減額修正案と党市議団提案の夏イベントを削減する一部修正案が採決されましたが、一部修正案が可否同数となったため、議長の裁決で可決成立しました。

天ヶ瀬温泉街復活プロゼクト事業とは、8月1日から8日

までの間にカヌーや魚のつかみどり、玖珠川のイルミネーション、ビアガーデンなどで夏のイベント850万円、11月から来年1月の間に温泉街の魅力フェアー(仮称)では夜にあかりをともしイベント、天ヶ瀬マルシェなど秋冬のイベント604万8千円、商品開発67万5千円など合計で1

522万8千円の予算をとまなう事業です。

この予算を審査した総務環境委員会では、予算に賛成する議員、予算の全額削除する議員、一部修正の議員の案はいずれも多数にならず、委員会では予算は否決されました。本会議での採決では、この事業予算の全額修正(理由は事業の積算根拠や費用対効果が不明確など)の案

は賛成3名で否決されました。

党市議団を代表して日隈議員が一部修正案を提案。理由は、天ヶ瀬温泉復興の支援は必要であるが、新型コロナウイルス感染症の急拡大は押さえられているとはいえ、デルタ株などの変異株感染が国内で広がっている中、大きなイベントを8月に開催するのは控えるべき。ワクチン接種が進めば、年末からの住民参加のイベントは可能で復興を後押しできると提案しました。一部修正案は10人の議員が賛成しましたので、可否同数となったため議長の裁決で可決しました。



# 天ヶ瀬復興予算を一部減額 市の中小・小規模業者の支援策